

第 64 回役員会議事録

I 日 時 平成 21 年 1 月 22 日(木) 13 時 30 分～14 時 25 分

II 出席者 岩崎学長、工藤理事、腰塚理事、田中理事、波多野理事、吉武理事、谷川理事、
山田理事、岸理事、
合志監事、吉井監事、水林副学長

III 議 題

- 1 中期計画の変更手続きについて ----- [資料 1]
- 2 平成 21 年度学内予算編成について ----- [資料 2]
- 3 平成 19 事業年度決算における剰余金の取扱いについて ----- [資料 3]
- 4 2010 第 9 回テクノロジー・ショーケースの筑波大学開催について ----- [追加資料 1]
- 5 本学附属聴覚特別支援学校生徒による人命救助について

IV 議 事

1～3 資料 1～3 に基づく審議の結果、それぞれ原案どおり承認された。

4 追加資料 1 に基づき、報告があった。

5 谷川理事から、1 月 18 日に、本学附属聴覚特別支援学校の生徒が、駅のホームから転落した男性を弟及び他の乗客とともに救助し、地元消防署から感謝状を贈呈された旨の報告があり、附属学校教育局教育長として表彰状の授与を検討している旨の付言があった。

【議事における意見等】

1 監事からのコメントとして、合志監事から、PFI 事業については問題が起きている事例があることなどから、患者の総数が変わるなどの状況の変化に可能な限り対応できるようにしてほしい旨の発言があった。

これに対して、山田理事から、PFI による病院の経営状況について、適宜役員会等に報告していくことにしたい旨の発言があった。

2 吉井監事から、外部資金の状況について質疑があり、田中理事から、全学を挙げての獲得努力により外部資金の額は右肩上がりに増加してきているが、事業費に占める外部資金の比率は他の主要国立大学と比べるとまだ低く、事業資金の多様化の観点からもなお一層外部資金を増やしていきたい旨の説明があった。

また、岸理事から、施設整備の状況について質疑があり、田中理事から、国から措置される施設整備費はほとんどが耐震化対策のための予算であるため、耐震化に係る施設整備以外については、専ら学内予算により措置している旨の説明があった。

3 関連して、文部科学大臣による剰余金の使途の承認手続き及び目的積立金の次期中期目標期間への繰り越し問題など、国立大学法人の利益の処分に係る制度のあり方について意見交換が行われた。

以上